



# しんじゅくの教育

## 「確かな学力の育成」のために

教育委員会は、子どもたちの確かな学力の育成を図るため、18年度から3つの新たな取り組みをスタートします。

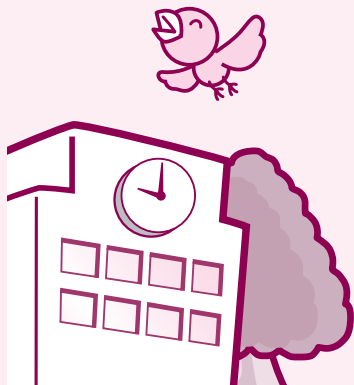
区立の小・中学校では、これらの取り組みを通じた教育活動に活かし、子どもたちの実態や地域特性に合わせた新たな特色ある学校づくりに取り組みむとともに家庭との連携を充実していきます。また、より一層わかりやすい授業や一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、21世紀を担う新宿区の子どもたちの個性や創造力、自ら学ぶ意欲を伸ばし、確かな学力をはじめとする「生きる力」を育てていきます。

### 学校が、変わる！

学校は、夏休みを短縮して増えた5日間の授業日数を年間を通じたカリキュラム編成に活かし、新たな特色ある教育活動に取り組みます。

例えば、習熟度別指導の時間を週1回増やし、少人数学習指導を充実させます。このカリキュラムでは「確かな学力推進員(非常勤講師)」が教員と共に指導にあたります。また、特定の教科を重点的に増やしたり、学芸会やボランティア体験などの行事を充実させるなど、各校の特色に応じた取り組みを充実していきます。

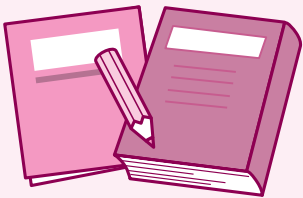
さらに、校長経験者による指導や助言を通じ、教員自らの研究、研修をサポートし、わかる授業、魅力あふれる授業を行っていきます。



### 家庭とはぐくむ！

年間を通して個人面談や教育相談を充実させ、家庭との連携をすすめていきます。

例えば、夏休みの前後に、学習の状況や家庭での様子や学校と家庭が伝えあい、学習効果を高めていきます。子どもとの成長と課題を家庭と共に考えることを大切にしていきます。

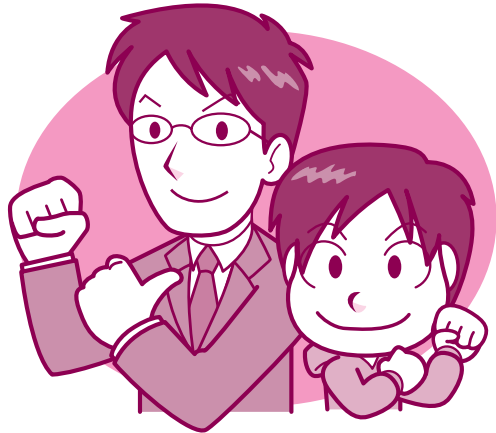


### 子どもの個性が 生きる！ 力が伸びる！

知識・技能はもとより、学ぶ意欲や学び方を含む「確かな学力」を育てていきます。子どもたちが生き生きと日々の学習に取り組み、わかる喜びと知的好奇心あふれる学びを支援していきます。

## 3つの新たな取り組み

- 区の費用負担で非常勤講師を増員し、子どもの学びをサポートします
- 学校の夏休みを短縮して年間授業日数を5日間増やします(第2学期は8月25日から開始)
- 教員の授業力の向上を図ります



## 18年度の基本方針と「確かな学力の育成」以外の主な施策

今、学校教育内外においては、学力の問題や安全・安心対策、または子どもを支える家庭や地域の教育力の低下など多くの課題があります。新宿区教育委員会では、こうした様々な課題に的確に対応するため、年度ごとに定める基本方針(左参照)のもと、「確かな学力の育成」を含め、総合的に教育施策を推進していきます。

各方針における施策の詳細は、教育委員会のホームページをご覧ください。

#### 基本方針1

「地域社会や国際社会において信頼される人」を育てる教育の推進

#### 基本方針2

確かな学力の育成と個性や創造力を伸ばす教育の推進

#### 基本方針3

魅力ある教育環境づくりの推進

#### 基本方針4

学校・家庭・地域の教育力の向上と連携強化

#### 基本方針5

生涯にわたって学びにつけられる環境の整備

魅力ある教育環境づくりの推進

#### ● 学校適正配置の推進

よりよい教育環境をつくるため、西戸山地区中学校の適正配置を推進します。

#### ● 幼児教育の充実

就学前の子どもたちに対する幼児教育の機会の充実を図るため、新宿区の幼児教育のあり方を総合的に検討し、今後の幼児教育施策の方向性を示すマスタープランを策定します。また、愛日幼稚園・中町保育園の幼保連携の本格実施や四谷幼保一元化施設(仮称)「四谷子ども園」の開設準備を行います。

#### ● 学校・家庭・地域の教育力の向上と連携強化

各保健センターで実施している「絵本であらう子育て支援」(乳幼児健診の際に絵本等を配付)に読み聞かせスタッフを派遣します。絵本を通じた親子の時間(ブックスタート)を提供することにより、乳幼児期の保護者に家庭教育を支援していきます。

また、小学校の入学説明会等を活用し、親子を対象とした入学準備プログラムを実施します。(18年度は2校を対象)

#### ● スクール・コーディネーターの活動

各小・中学校に1名ずつ委嘱委員としてスクール・コーディネーターを配置します。スクール・コーディネーターは、地域の教育力を学校に橋渡しするなど学校の教育活動の支援や学校と地域との連携に向け活動します。

#### 生涯にわたって 学びにつけられる環境の整備

#### ● 子ども読書活動の推進

「新宿区子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの自主的な読書活動を推進します。

中央図書館2階の児童室を改修し、「子ども図書館」として、児童サービス充実させるほか、学校図書館との一層の連携を図ります。



教育政策課企画調整係  
☎(5273)3074

### 地域活動

子どもの安全は学校だけで守るものではありません。保護者や地域の大人の目や子どもたちを犯罪から守る一番の力となります。これからは子どもを見守る大人の目、地域の目をいかに増やすかが最も大事だと考えています。今後も学校と家庭と地域の連携を強め、子どもたちの安全をしっかりと守っていきます。

#### 1 わんわんパトロール隊

落合地区では、犬を飼っている大人の方に登録してもらい、犬の散歩をしながら地域の安全を確認し、子どもたちに声かけをしてもらう防犯ボランティアわんわんパトロール隊を結成しています。

#### 2 小学校PTAによる防犯パトロール

多くの小学校で子どもの登下校時に、PTAによる防犯パトロールや見守り活動が行われています。

#### 3 PTA主催による防犯講習会

戸塚大久保地区ブロック小学



小学校PTAによる防犯パトロール(戸塚・大久保地区)

校PTA連合会では、スクールサポーター、NPO法人ガーディアンエンジェルズをオブザーバーに迎え、防犯講習会を行っています。

### 学校の安全対策



「子どもを守るために」  
昨年、小さな子どもを狙った痛ましい事件が相次いで起こりました。教育委員会では、以前から子どもの安全を守るためのさまざまな取り組みを実施していますが、こうした事件をうけて昨年12月に安全強化月間として、各学校で、児童・生徒の登下校時の安全確保、子どもたちへの危機管理啓発などを行いました。これからもより対策を強化し、子どもたちが安心して学校や地域で過ごせるように努めていきます。

# 子どもたちの安全 安心

#### 1 防犯教育の実施

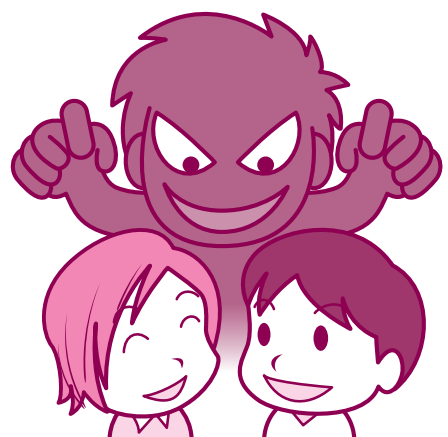
犯罪被害防止啓発冊子「こんなときあなたは どうしますか?」を作成し、区立小学校1年生に配付しています。また、区立小・中学校では、危機回避能力などを体験的に学ぶセーフティ教室を開催しています。

#### 2 防犯ブザーの配付

区立小・中学校の全児童・生徒に防犯ブザーを配付しています。

#### 3 モニター付きインターホンとオートロック及び緊急防犯システムの設置

区立小・中学校及び幼稚園に、モニター付きインターホンとオートロックを設置しています。また、各学校には緊急防犯システムも設置しています。



#### 4 特殊警棒等の配備

区立小・中学校に特殊警棒、催涙スプレーなどの防犯用品を配備しています。

#### 不審者情報の共有を

犯罪の被害を未然に防ぐには、日頃から地域の犯罪発生状況や不審者に関する情報を共有しておくことが大事です。

各特別出張所では、「地域の子どもの安全ネットワーク」の事務局として子どもに関する事件や不審者に関する情報をあらかじめ登録いただいたパソコンや携帯電話へメール配信するサービスを行っています。詳しくは、各特別出張所のホームページをご覧ください。

また、各警察署でも管内の犯罪発生情報等をメールで配信しています。ご活用ください。お問合せ及び登録は各警察署へ。

- 牛込警察署 ☎(3269) 0110
- 新宿警察署 ☎(3346) 0110
- 戸塚警察署 ☎(3207) 0110
- 四谷警察署 ☎(3357) 0110

教育政策課企画調整係 ☎(5273) 3074

## 新宿区の理科教育

～早稲田大学と連携「サイエンス実験授業」～

新宿区は、理科実験教育を通して、子どもたちに理科の楽しさ、面白さを伝えるため、区立中学校2校で早稲田大学の教授陣による「サイエンス実験授業」を平成17年秋から始めました。

本プログラムでは、中学2年生を対象に「液晶ってなんだろう」「見えないものを見てみよう(半導体集積回路(IC))を使って」の2つのテーマに添って、早稲田大学で最先端の研究に取り組んでいる教授等が講師を務めています。授業は1時限50分授業を2時限続けて行うため、じっくりと実験に取り組むことができるほか、1クラスにつき年に2回行うことで、理科実験への関心が一過性にならず定着を図ることができます。

2回目の授業では、「見えないものを見てみよう」をテーマにして、身近にある小さいものとしてICについて学びました。実験では、電卓を分解して半導体基盤を取り出しICを確認したり、実体顕微鏡を使い、紙幣や硬貨の隠された文字を探したり、マイクロ文字を見るなど、肉眼では見えない小さなものを見ることを体験しました。実験後は、講師から子どもたちに対して「研究者になった動機」についての講話もあり、子どもたちは理科の楽しさ、面白さを感じるとともに、科学技術の面白さや仕事のやりがいについても学ぶことができました。

新宿区では、子どもの知的好奇心を促したり、「感じ、考え、理解する」という問題解決に必要なプロセスを学ぶために理科実験が効果的であり、今後も理科教育を一層充実したいと考えています。



教育指導課 ☎(5273) 3084

## 子どもたちのためにできること

乙武洋匡さんが「子どもの生き方パートナー」として活動を始めて一年。子どもたちからたくさんの刺激を受けながら、区立学校を中心に活動してきました。

子どもたちにとっても、乙武さんとの出会いは印象的であり、考え方や生き方に触れることは、これまでの自分や将来の自分について深く考えるきっかけとなっているようです。18年度は、「コミュニケーション」をテーマに活動を続けていきます。



教育政策課企画調整係 ☎(5273) 3074

昨年4月から「子どもの生き方パートナー」として、区立小・中・養護学校を訪問してきました。授業参観のように教室の後ろから子どもたちの学習の様子を見学したり、一緒に給食を食べたり。入学式や運動会といった行事にも参加させていただきました。

子どもたちとの交流を通して、強く感じたことがあります。それは、「コミュニケーション能力の低下」。小学校の給食の時間では、とりにいる友達のことを紹介する“他己紹介”をしてもらうことが多いのですが、クラスメイトの特徴や趣味を知らないばかりか、フルネームまで言えない子がいたのには驚きました。中学校では、ほとんどの子が「よっぽどのことでなければ、悩みごとは誰にも相談しない」と答えました。

よく「子どもが変わった」と言われます。たしかに、僕らの世代や、さらに上の世代と比べると、こうしたコミュニケーションのあり方を含め、子どもたちの変化を感じる場面が少なくありません。しかし、そこには「なぜ、変わったのか」という視点が欠けている

のではないのでしょうか。

携帯電話やインターネットは子どもたちにも普及し、彼らの生活にも大きな影響を与えました。核家族化に、両親の共働き。家のなかで孤独な時間を抱える子どもの数もきっと増えたことでしょう。

社会が大きく様変わりをした。だから、子どもたちも「変わらざるをえなかった」。それなのに、僕らは無責任に「子どもが変わった」と口にはしていないのでしょうか。子どもたちが変化せざるをえなかった要因に、見て見ぬフリを決めこんでいないのでしょうか。

僕自身、スポーツから教育という分野へ活動の幅を広げたのは、子どもの成長に、大人が、社会がもっと責任を持つべきだと考えたからです。一年間の活動を通じて、さらにその思いを強くしています。

「子どもたちのために何が出来るか」僕ら一人ひとりが、真剣に向き合わなければいけない時期に来ていると感じています。

子どもの生き方パートナー 乙武洋匡

「しんじゅくの教育」編集担当では、皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。また、新聞を購読していない等で郵送をご希望の方はご連絡ください。

教育政策課企画調整係 ☎(5273) 3074

# 学校給食の今と昔

学校給食ってどんなものを食べているの？

学校給食は、明治22年に山形県鶴岡市の私立忠愛小学校で、貧困によりお昼ご飯を持ってこれない子どもたちのために、おにぎりや焼き魚などの食事を提供したのがはじまりとされています。

新宿区の給食は、四谷第七小学校旭町分教場で、昭和6年9月1日から始まり、中学校は昭和38年12月にミルクのみの給食から始まりました。その後、献立の充実、食器の改善などさまざまな取り組みが進められてきました。

## 昭和7年の小学校の献立

|                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| ● 昭和7年 1月9日(月)  | 黒大豆煮、金びら(ぼろ)、果物、香の物 |
| ● 昭和7年 1月10日(火) | 魚フライ、香の物            |
| ● 昭和7年 1月11日(水) | おでん、香の物             |

※米は、二年生三五g、三年生五〇g、五、六年生八〇gと決められていた。

今の学校給食は、見た目もよく、食器に強化磁器を使用したり、献立の内容も豊富で、工夫された給食となっています。また、栄養バランスのとれた食事の提供はもちろんのこと、児童生徒一人ひとりが、生涯にわたって健康で充実した生活を送ることができるように、教育の一環として実施されています。

30〜40年前の給食のメニューは、「揚げパン」「鯨肉の竜田揚げ」「牛乳」といったような定番のものが多く、先われスプーン以外を使って食べることもなかったようです。昔食べた給食を懐かしく思う人も多いのか、給食を再現している外食店もあるようです。親と子、また、おじいちゃん・おばあちゃんや孫とで、給食について話してみることで、意外な驚きがあり、ふれあいが増えるきっかけになるかもしれません。

平成18年3月分の小学校給食献立

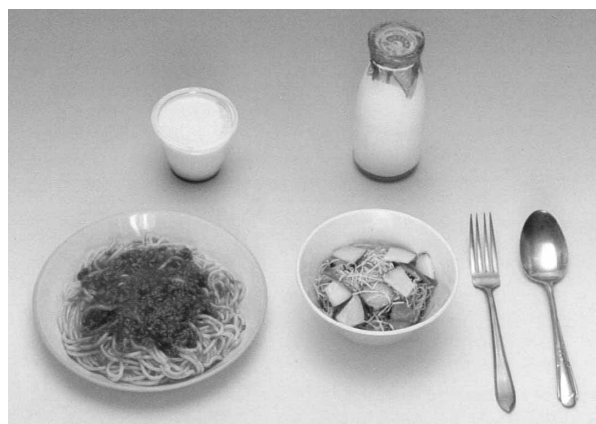
| 曜日 | 献立名                                |
|----|------------------------------------|
| 月  | 豚肉のうま煮丼、牛乳、みそ汁、みかん                 |
| 火  | パン、牛乳、マカロニグラタン、イタリアンスープ、いよかん       |
| 水  | ごはん、牛乳、魚と野菜の中華うま煮、コーンサラダ           |
| 木  | スパゲッティナポリタンソース、牛乳、フライドポテトとひよこ豆のサラダ |
| 金  | 菜の花ずし、牛乳、しんじょのすまし汁、桃ゼリー            |



今の給食：ごはん、牛乳、銀だらの照り焼き、いりおから、かき玉汁

昭和43年4月分の小学校給食献立

| 曜日 | 献立名                            |
|----|--------------------------------|
| 月  | パン、牛乳、ホットドック、やさいソテー            |
| 火  | パン、牛乳、まぐろのてり、ごまあえ、マーガリン        |
| 水  | パン、牛乳、たまごサラダ、チーズ               |
| 木  | パン、牛乳、野菜と豚肉の炒めもの、マーガリン         |
| 金  | パン、牛乳、メンチカツ、コールスロー、スパゲッティマトソース |



44年の給食(献立レプリカ)：ミートスパゲティ、牛乳、フレンチサラダ、プリン  
写真提供：日本スポーツ振興センター



## 給食カレーの作り方



- 1 とりがらをよく洗い、たっぷりの水にやさしく(にんじん・たまねぎetc)を入れてふたをしなくて2時間くらい煮出し、時々あくをとり最後にこす。
- 2 小麦粉を油でよく炒める。きつね色になったら、カレー粉を加えて、よく混ぜるまで炒める。(火加減は弱火)
- 3 にんにく・たまねぎ・豚肉の順に油で炒めカレー粉をすこしふる。1のスープを加えて、やわらかくなるまでぐつぐつと煮る。
- 4 野菜が煮えたら、チャツネ・塩・こしょう・ソース・チーズ・ケチャップ・赤ワイン・しょうゆで味をととのえて、最後に2のルーを加えて、よく煮こんでできあがり。



学校運営課  
保健給食・幼稚園係  
☎(5273) 3098

## 子ども居場所事業 有名選手も来たよ!!

新宿子ども居場所運営協議会(スクール・コーディネーターやPTAなどで構成)では、平成16年度より放課後や休日の区立小・中学校を活用し、子どもが安心して参加できる文化・スポーツ活動の場づくり(居場所事業)を進めています。



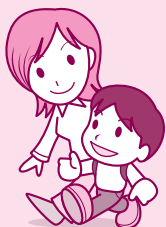
今年度は、「チャレンジ教室」(文部科学省委託事業)として日ごろの居場所事業ではなかなかできない有名選手や講師を招いた講演会や、ユニークなイベントを行い、小学校、中学校合わせて13事業が開催されました。

小学校では、「プロに学ぼう」のテーマで、元日本代表サッカー選手の北澤豪氏によるお話と実技指導や「スポーツはコミュニケーション」と題した「車椅子バスケットボール体験教室」が開催され、子どもだけでなく、保護者、教員も参加し、身体を使った体験を通して交流を図りました。また、「恐竜博士が花園小にやってくる」では、子どもたちと保護者が、骨格標本の観察をしながら最新の恐竜学や研究方法を学びました。中学校では「石毛宏典氏講演会」が開催され、自身の野球体験から夢を持つことの素晴らしさが語られました。

このほかにも、音楽会、防災キャンプなどの事業が開催されています。

## \*\*\* 保護者の方へのお願い \*\*\*

子ども居場所事業の子どもたちの安全確保について、会場では、主催者側としても細心の注意を払い運営してまいりますが、子どもたちの帰路などの安全対策については、対応が難しいため保護者の方の送迎などを、お願いしております。今後も、子どもたちが安心してのびのびと過ごせる場となるよう運営してまいりますので、一層のご理解及びご協力をいただきますようお願いいたします。



生涯学習振興課地域教育係  
☎(5273) 3147

## 「文化財ガイド養成講座」を紹介します

教育委員会では、区内に多数所在している文化財・歴史資料の発掘、所在・現状調査を区民と共に、共に活用していく人材と体制づくりを進めています。今年度は、区民に文化財調査のノウハウを体験してもらうため「文化財ガイド養成講座」を開催しましたのでご紹介します。



講座は、前期、後期各12回と長丁場の開催にもかかわらず、多くの方の参加がありました。方法は、講義と実技をセットにし、地図の見方講座を行ったあと、地図をもとに現地を歩くなど、なるべく実践的な内容で行いました。都市化された新宿でも、古い祠があったり、ザリガニが生息する湧き水があったりと、新たな発見もありました。

参加者のアンケートによると、「わからないこと、できないことさえ自分にとっての発見でした」「実技は、今までの想像するだけでしたが、実際にすることができ、感謝します」など、自ら体験する楽しさを感じられたようです。また、養成講座の続編を希望する声も多数ありました。

講座終了後、区が実施する文化財調査等への協力を呼びかけたところ、多くの方の賛同を得て、昨年10月と11月には、国史跡「林氏墓地」の墓石現状調査を行

い、2日間で延べ14名の方に、ご協力いただきました。

今後は、参加された方々と共に、地域の身近な文化財を調査、保存、活用できるような体制づくりを、さらに進めていきたいと考えています。



生涯学習振興課文化財係  
☎(5273) 3563



「しんじゅくの教育」編集担当では、皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。また、新聞を購読していない等で郵送をご希望の方はご連絡ください。

教育政策課企画調整係  
☎(5273) 3074

## こども図書館がオープンします

皆様に長らく親しまれてきた中央図書館児童室は、1月16日をもって閉室し、5月5日に「新宿区立こども図書館」が開館します。現在、開館に向けて準備工事を進めています。

新しいこども図書館は、書架も低く、小さいお子さんにもやさしい設計にするとともに、車イスの方でも安心してご利用できるようにバリアフリー化を図っています。

区民の皆様には、準備工事によりご不便をおかけしておりますが、ご理解をお願いします。



中央図書館  
☎(3364) 1421

## 平成18年度より区立中学校に情緒・通級指導学級を新設します

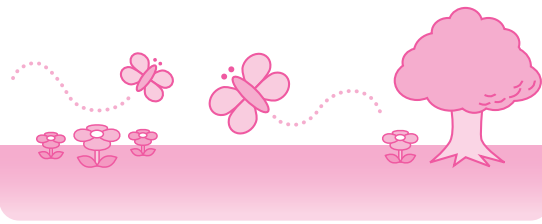
在籍する中学校での学習や生活をより充実したものにするために、コミュニケーションの力や学校生活・社会生活に必要な知識・技能・態度を育てることを目的として開設します。

【場 所】新宿区立落合第二中学校  
西落合1-6-5

【学級規模】18年度は1学級(10名以内)



学校運営課学校運営支援係  
心身障害教育主査  
☎(5273) 3097  
落合第二中学校・通級学級  
☎(5982) 5011 (4月1日から)



## 生涯学習施設の利用方法等が変わります

新宿区の生涯学習施設では、サービスの向上を図り、かつ施設の管理をより効果的・効率的に行うために平成18年4月から「指定管理者制度」を導入することになりました。

これに伴い、18年4月から施設の利用方法等が変わります。利用時間の延長やインターネット予約など、みなさまが利用しやすい施設管理を行ってまいります。

### 主な変更点

- 1 新宿スポーツセンター、新宿コズミックスポーツセンター、大久保スポーツプラザの利用時間が、1時間延長されます。(午前9時～午後10時まで)【平成18年7月より実施】
  - 2 新宿スポーツセンター、新宿コズミックスポーツセンター、大久保スポーツプラザの貸切利用区分が現在の3区分から4区分に増えるなど、利用団体の利用状況に合わせより利用しやすくなります。それに伴い利用料金も変更になります。【平成18年7月より実施】  
\*詳しい料金等については、各施設にお問合せください。
  - 3 新宿スポーツセンター、新宿コズミックスポーツセンターの駐車場が有料になります。
  - 4 すべての施設の貸切利用の申し込みがインターネットでもできるようになります。料金の支払いも口座振り込みで行うことができます。
  - 5 すべての施設で区民以外の方も利用できるように
  - 6 庭球場の団体登録の要件が「6人以上」から「2人以上」に緩和されます。
  - 7 西戸山公園野球場を利用できる種目が拡大されます。野球やソフトボール以外の種目でも空きがあれば利用できます。
  - 8 新宿コズミックスポーツセンターの「子供運動広場」が「多目的広場」に改修され、設備が防音化されます。また、2階に「多目的室」が新設されます。どちらも、有料で貸切利用できるようになります。
  - 9 新たに新宿歴史博物館の講堂が有料で貸切利用できます。
- \*詳しくは各生涯学習施設において配布しているチラシや新宿区生涯学習財団が発行している「Oh!レガス」等をご覧いただくか、各生涯学習施設に直接お問合せください。

## 新宿スポーツセンター・新宿コズミックスポーツセンターのプリペイドカードの取扱いについて

新宿スポーツセンターおよび新宿コズミックスポーツセンターのプリペイドカードは、3月31日(金)で使用ができなくなります。期限までにご利用ください。もし、期限までにご利用いただけなかった場合は、次のとおりプリペイドカードの残額を期限付きの回数券と交換します。なお、現金による返還はできません。

【交換期間】4月1日(土)～19年3月31日(土)(1年間限り)

【交換場所】新宿スポーツセンター(大久保3-5-1)  
新宿コズミックスポーツセンター(大久保3-1-2)

【対象カード】17年7月4日(月)以前に発行または料金チャージ(入金)し、同年7月5日(火)以降は料金チャージをしていないもの(同年7月5日(火)以降に発行または料金チャージしたプリペイドカードは交換できませんので、ご注意ください。)



生涯学習振興課生涯学習・スポーツ係  
(第一分庁舎4階)  
☎(5273) 3112  
(財)新宿区生涯学習財団  
☎(3232) 7701  
新宿スポーツセンター  
☎(3232) 0171

【回数券の有効期限】交換日から1年間

【回数券の利用】新宿スポーツセンター・新宿コズミックスポーツセンターの個人利用または事業参加等に、100円単位で使用できます。

## 平成17年度 第2回 幼児・児童・生徒表彰

教育委員会では、平成18年3月22日に第2回「幼児・児童・生徒表彰」を行い、表彰状と盾を授与し、その栄誉をたたえました。

### 団体

牛込第二中学校サッカー部：第49回東京都中学校サッカー新人大会 第3位

### 個人

久保田 結さん(富久小学校5年)：第15回全国小・中学生箏曲コンクール 小学生の部最優秀賞

川端 真奈さん(花園小学校1年)：第36回世界児童画展 文部科学大臣奨励賞

早田 怜生さん(落合第六小学校3年)：体験記事「食事と家族のふれあい～心も体も温まる食事～」 作文部門(低学年)最優秀賞

篠原真理沙さん(西早稲田中学校3年)：東京都中学校英語学芸大会 Speakingの部第1位

妹尾 暁暢さん(天神小学校6年)：2005 AJG体操選手権 小学生男子の部個人総合第1位

## 平成17年度 新宿区読書感想文区長表彰

新宿区立小・中学校全校の作品の中から区長賞4点が選ばれ、12月14日に表彰式が行われました。

全作品を掲載した「読書感想文集けやき第21号」は、区立の図書館・児童館・学校図書館で閲覧することができます。

### 区長賞

茶谷 晋伍さん(市谷小学校1年) 「一ねん一くみ一ばんゆうき」

梶原 陽太さん(落合第四小学校3年) 「あのね、いえでででんしゃくん」

伊藤 有紗さん(津久戸小学校6年) 放射能の黒い雨  
それは負のプレゼント

志村紗和子さん(西新宿中学校3年) 「西の魔女が死んだ」を読んで  
-この本の魅力、生き方について考える-

## 新宿区教育委員会の動き

### ◆教育委員会について◆

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した5名の委員で構成する合議制の執行機関です。

会議は、毎月1回第1金曜日(都合により変更あり)に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催して、教育行政の基本的施策の決定や議案の審議をするほか、諸事項について事務局から報告を受けています。

今号では、平成17年12月2日から平成18年3月7日までに開催された教育委員会の主な議決事項等をお知らせいたします。

### 議案

- 「確かな学力の育成」への新たな取り組みに関する方針について
- 新宿区立図書館設置条例の一部を改正する条例について
- 新宿区登録文化財の登録について

### 報告事項

- 子どもの見守り・安全強化の取り組みについて
- 西戸山地区中学校の適正配置の取組開始について
- 新宿区幼児教育のあり方検討会の設置について
- 事業別行政コスト計算書について

### 教育委員会はどなたでも傍聴できます

会議の日時、場所、議案については、教育委員会掲示板に掲示しています。

傍聴をご希望される方は、開始時刻の10分前までに会議場へお越しください。その場で傍聴券をお渡しします。ただし、お酒を飲んでいる等傍聴をするのに不相当と認められるときや会議場の都合で多くの方が入場できないときには、傍聴をお断りする場合があります。

また、議案等の内容が個人情報に関係するなど会議を公開することが不相当と教育委員会が決定した場合は、非公開とすることもありますので、あらかじめご了承ください。



教育政策課管理係  
☎(5273) 3070